

皇太子結婚パレードを見て（ルポ）

少ないバンザイ

ヨリ見物

国民は踊らなかつた

泰だつたのである。

「世紀の結婚式」の馬車列が三重橋を渡つて皇城前広場に現れたときだつた。待ちわびた群衆の中に一瞬さわめきが起つた。新聞社や放送会社が配つた目の丸の国旗がバラバラと打ち振られた。二人をのせた馬車は規定通り時速二十キロのスピードで群衆の闇をかきぬけていった。ほんの何十秒間かのことだつた。ハンザイの声も出ずに一億三千万円しか与えられなかつた原爆被災者たちがいるとき、三億円の結婚式が「緊要」であつたはずはないのだ。

警視庁にはじめる出入百万と予想した。だが實際に集つた数は五十万七千だつたと報ぜられた。参観者数のくいちがいは大した問題ではないかもしれない。しかし群衆はか

泰)だつたのである。

皇太子へのあやかり方はさきまであつた。結婚ブームでかせいだ神社、(ヘア・バンドやVネックのシャツで襟いだ百貨店、大売出しや慶賀預金等々。だが最大のおやり組はおそらく岸政府であつただろう。いや、それははじめから政治的に仕組まれた大勢だつたのである。悪い出してみるがよ

（お嬢さんが天皇家へお嫁入りしたという気持——森田たま）で声援を送りにきたのもなかなかつた。それは一つの金のかかりすぎたシヨールを見るためにやつてきたのである。そして華かな大芝居のパレードが興奮を起させてほとんど進行きつく先はどこなのか——國民はやがて自分の目でそれを見せねばならぬ。

した。
 ではそんなに
 私を愚づまらせ
 こわばらせた選挙とはいつたいな
 んでしょうか。いま、日本は軍大
 な危機に迫られています。いまま
 でもなくアメリカ帝国主義者と岸
 反動政府の手によつて彼等の後援
 のあがきである安保条約改訂とい
 主議者と日本全国民の総力によつ
 て勇断粉砕された懸断法改悪をか
 つぎ出した岸反動政府は一層その
 反動性を露骨にしてきたのです。
 私たちを中国、ソ連、朝鮮やその
 他のアジアの独立諸国に対する優

雑記帳
 (17) 小山

あきら
しみのつぼにお
とし入れ、日本民族の滅亡にもかえ
り見ぬ謀略の黒雲が、いま黒々と
私達の頭上に覆ひ被つてゐるの
です。私は「みなさん、頭の上をこ
らんない。うしろを、前を、そ
して左を右をこらんない。見え
ないものを、見よう。」と叫んでゐ
た。

労働者階級を舌
私達の權利であり義務なのです。
いまこそ私たちは、政治的な提
野をひろめて、未来を暗くしよ
とする資本家たちの野望を正しく
みつめみんなの力で明るい社会を
建設せねばなりません。

労働者階級の、正しい一票によ
つて前進の基礎をかため、不断の
闘いをおこしましょう。

けた。なお、荒地辟では、この「
 農村慰安の夕へ」にひきつづき、
 二十六日に蒲田公会堂でメーデー
 前夜祭をひらくことになったといふ。

トピック

日に四ツのタマゴ
 を生むニワトリ

昨年、米の多収記録をつくつて、
 話題をまいた中国で、こんどは

たのである。結婚の政治利用は違
拳違反恩赦に、ばんロコツにあら
われた。結婚を最もよろこび迎え
たのは皇太子よりも宰相片岡そ
の人ではなかつたか。

四月十日、國民は演出者の思い通
りに踊りはしなかつた。集まつた
群衆は皇太子夫妻をおがみにきた
いつぱいになりました。一箱にき

[illegible]

略的な軍事同盟の中に押し込んで
 再び悲惨な戦争の渦流にまき込め
 うとしているのです。
 また、「首切り」と「値下げ」
 の独逸的な企業整備案をおしつけ
 てきた会社は、さらに遠藤分会長
 に情容赦もない態
 度で一方的な解雇
 から立去らせ、日本民族の独立と
 選挙はこういつた私達の生活と
 權利を、いや全国民の生命を破壊
 しようとする反動的分子をこの世
 から立去らせ、日本民族の独立と

メナーの喜びをわけあおうとの趣旨ではじめられたこの催しは、回を重ねるごとに盛況をみせ、観客の人のたのしみの一つ。

この日職室は満員の盛況、教組、友の会、一紡、四山、三川、市販、自労、三和、華商の仲間たちが、歌、踊り、フォークダンス、楽器

集團就職の子ら



富岡隆

人、早朝から砂浜の上で待つといふ人たちがあつた。

パレードが順次つた、などというのではない。警察にとつてどんなにあつてないものであつたか、税金、徴税がつかまつた、二億円の新聞が用意された結婚であつたことにちがひがないのだ。一万の徴にはさきやかな、結婚資金要求をけられ、結婚すれば賞切られる労働者たち、四十万人の治癒病だ。その次がデパート」(無職或る時に突然くりひるげられた車かなシヨウであつて、国民を非政治性にならしたるという役割を果した」(江藤厚「評論家」)。そして総仕上げの結婚の後は、獲参戦のさ中、しかも日本の安撫にかかわる安保条約改定への反対闘争がいままさに急遽に壁土うつとしていふ時機にくりひるげられ、その陰では条約改定を「きよに調印に持ち込む」とする動きがかくとされてい

東北地方の農村や炭鉱の中学出の少年少女たちが、集団就職で東京へいく汽車にのりあわせた。花々もりの午後である。船越福平町の暗いホームで、同級生や親兄弟に見送られた二団が、腕に「福島県〇号」の白布をつけてのりこんでた。席につくと、泣きながらた眼辛、セーラー服の白いネツカチーフで抱おう女の子や、いきなりビニールのカバンから赤飯の丼を倒す子もいた。船越福平町の暗いホームで、同級生や親兄弟に見送られた二団が、腕に「福島県〇号」の白布をつけてのりこんでた。席につくと、泣きながらた眼辛、セーラー服の白いネツカチーフで抱おう女の子や、いきなりビニールのカバンから赤飯の丼を倒す子もいた。

でも、千田札二枚、持つてツから
な」と、ふぞろいの齒をみせてウ
フフと笑つた。湯本駅へつくと、
ここからも、胸に白布垂つけた一
団がのりこんできた。しばやくは

ミスター
つるは

せほか、が
こうやぶ
れて……

大都会へつくなりバラバラに切り
はなして、二東三改でたまたき来る
やり方は、まるで人買いじやない
かとおもつた。子どまたちはし
やげなはしやぐほど、私の心は暗




メーデーも近まり無地帯ではこと
後六時から府本小学校講堂でひら

農村の夕べ開く

荒地評・メーデー前夜祭

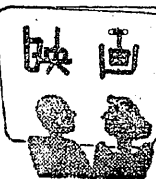


ウーム
ほにか
出まそうだナ

から九十羽のニワトリを飼ひ、鶏舎に蛍光灯をつけたり、抗生物質をあたえるなど、養鶏方法を改善したところ、昨年十一月からことしの三月まで、一日に二ツのタマゴを生んだのが七十七羽、三ツ生んだのが七羽、四・五日つづけて二ツから三ツ生んだのが十一羽、二ツ生んだ羽もまた一ツ生んだのが十九羽、四月三日には一日に四ツも生んだニワトリがあるわれ

惜春鳥

多感な青春の哀観を描く
木下恵介監督の野心作



(かいせつ) この作品は、春また
浅き会津盆地をバックに五人の中
学時代の同窓生たちの美しい友情
と、また亡き帰りの青春の夢を
おしみながら大人に成長してゆく
若人の恋慕を、初恋やさまざまな
事件をとりこんで描く木下重臣監
督のオリジナルシナリオによる野
心作である。

(ものがたり) 少年団結する白虎隊
国歩娘難木雪生を成る 大塚英如風
雨来る 殺気慘たん目白晦し……
ひとりの青年の詩吟にあわせて

四人の青年が木下重臣(もとしげ)の剣舞を
舞っている。そこは会津の飯盛
山、白虎隊の墓前である。詩を吟
じているのは会津津りの下職をや
つてゐるモッコの馬杉彰(うまぎら)
三。舞っているのは大滝旅館の
息子峰村孝也(みねむらたけ)一、工場
に働く手代木浩三(てぐさひろみ)三、
「サロシ」の息子牧田康生(かきたけ)一
雅彦、それにアルバイトして東
京の大学に通っている岩垣寛治(いわがき
かんぢ)の四人。彼らは岩垣の
帰郷を機会に、久しぶりに旧懐を
い——そんな感動がたまたまつてい
た。しかし岩垣は故郷に帰るなき
つたのではなく逃げ帰つたのだ。
出雲若鬼家の女中と恋なことにな
つて追いだされ、苦しいアルバイト
にまがいつて希望を失つていた。
手代木はその岩垣を冷く責め、馬
杉は生一本に彼をかばつた。とき
おりそんな感情のきき波はあつて
も岩垣は旅館を置いて早也の家にし
ばらく、のどかな日々をおくつた。
康生の家にも東京から叔父の英太
郎(佐田啓二)がころがりでこんで



がなんとも好きで、
岩垣などと一緒に草也
の旅館で飲んだ際、み
どりに会ったことを話
した。英太郎の瞳は一
瞬輝いた。そしてみど
りは巨虎隊の踊りが上
手だったと思いだして
いる風だった。康生は
この叔父とみどりをま
う一度逢わしてあげた
いと願う。

(大天地で上映)

「若い女性の
生きかた」

この本はとくに私たちにはなじみぶかに田中代議士の夫人田中寿美子さんの著書です。

職場や家庭、農村などで現代の若い女性が「いかに生きるべきだろうか」という悩みをもっているその若い女性たちと著者がさまざまのかたちで語りあつて感じた若い群像の息吹と、著作が一人の女性として生きぬいてきた豐富な経験をふくめて、若い女性の「生き

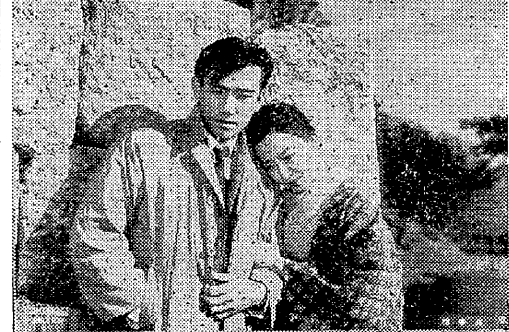
「なほ考えは現実のひとさから痛感されることと思いますが、未來に對して、私たちはそれほど見通しをもつてゐるでしょうか？ 人間だつて進歩します。技術の進歩が人間の精神の進歩も促がします。私たち女性が本當の意味で解放されたいと切望するかがり、そこには解決の道があるにちがひないのです。私は弁証法的な歴史や社会の發展を信じています。苦しみで解決を求めるのは、それへの解決のみくじけようとする現代にいきるうちに深い考えと眞面目な努力をされる方がいらつしやることこそ解決への糸口がみえてゐるものと私は信じています。人間の歴史は長いのです。またいつか選り將來に、男女が本當にいたわりあい、愉快に暮せる日がくると思ひます。そのように人間が努力する限り」といつています。

されていますが、そのあたなを
には感動的なものがあり、これら
ら結婚をする若者にきつとすばら
しい指針をあたえてくれるのでし
う。

この著名がしめすように「若
女性の生き方」をおしえるものと
してひろく働く仲間のみなさんに
一読をおすすめています。

田中寿美子著 現代教養文庫
二〇二頁 一〇〇円

ふじやわ・なかほ



(大天地で上映)

農村の夕べ開く

荒地評・メーデー前夜祭

「『農家惣安の多べ』を、十八日午
後六時から府本小学校講堂でひら
いた。
メーデーも近まり荒地評ではこと
しも、農家の人たちを対象とした
娯楽に願まれない農家の人たちと

のが十九羽、四月三日には一日に四ツも生んだニワトリがあらわれたという。



(29)

若者の／＼生きる道標／
「若い女性の
生きかた」

救われる時はないという悲觀的なお考えは現実のひとさから痛感されることと願いますが、未

結婚をめぐる手紙の全文も掲載されていますが、そのあたたかさには感動的なものがあり、これか

この本はよくに私たちにはなじみぬかい田中代議士の夫人田中春美子さんの著書です。

職場や家庭、農村などで現代の若い女性がいかに生きるべきかをうかがいという悩みをもつていろいろの若い女性たちと著者がまじりまじりのかたちで語りあつて感じた若人の群像の畝次と、著者が一人の女性として生きぬいてきた豊富な経験をよくくめて、若い女性の／＼生き

来に對して、私たちはそれほど
昇進しをもつてゐるでしょうか
？ 人間たつて進歩します。技
術の進歩が人間の精神の進歩も
促がします。私たち女性が本當
の意味で解放されたといふ事實
あるにちがひないのです。私は
弁証法的な歴史や社会の發展を
信じています。苦しみは解決を
求めるのは、それへの解決のみ
くじけようとする現代に欠ける
もので、それは信じています。人
類の歴史は長いのです。またいつ
か近い将来に、男女が本當にた
わりあい、愉快に暮らせる日が
くると思ひます。そのように人
間が努力する限り」といつて
います。

ら結婚をする若者にきつとすべしといひ、
しい指針をあたえてくれるであらう。

この著名がしめすように「若く女性の生き方」をおしえるものとしてひろく働く仲間のみならず、一読をおすすめていたします。

田中壽美子著 現代教養文庫
二〇二頁 一〇〇円
ふたむね・ななめ